

## 寅さん歩 その 26

### 東京の主要道路の起点～終点

### 靖国通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」と歩いてきた寅次郎、元号の大正を通称とした道路はないのかと探したところ、現在の「靖国通り（都道302号線）」（写真右上）が1962年（昭和37年）の命名以前には「大正通り」と呼ばれていたと知りました。大正通りは関東大震災の復興事業で東京の東西の軸として造られています。靖国通りは中央区東日本橋二丁目の隅田川に架かる両国橋西を起点に新宿区歌舞伎町のJRの大ガードを終点とした延長8kmの道です。今回は起点の中央区両国橋西から千代田区駿河台下交差点まで歩きました。

今回（2021年11月）は千代田区駿河台下交差点から千代田区九段の靖国神社まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。東京の博物館めぐりも並行して記載しています。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[駿河台下交差点]** 千代田区神田小川町三丁目

最寄駅 都営新宿線 神保町駅

靖国通りの下は都営地下鉄新宿線（以下都営新宿線）が通っています。駿河台下交差点（写真下左）は左へ行くと神田錦町3丁目方面、右へ行くと明治大学駿河台キャンパス、御茶ノ水駅方面です。明治大学駿河台キャンパスは博物館や学生食堂が見所です。寅さん歩 200 東京の学食めぐりー8、寅さん歩 315 東京の博物館めぐりー8 千代田区をご覧ください。

駿河台下交差点手前左角に又、「たい焼き屋」（写真下右）を見つけました。



## [寄り道] ご縁たい焼き 嘉祥庵

開店時間前の到着なので後日に寄り道しました。一般のたい焼きと形が違いまん丸の中に鯛のフォルムがデザインされています。

つなぐ縁、むすぶ縁、良いご縁に恵まれますようにとの「ご縁たい焼き」です。たっぷりの中身で美味しかったです。家に戻り、「嘉祥庵」を調べたら、前回寄り道の「神田達磨」と同じ会社の経営でした。



進行方向左側に神田すずらん通り（写真右）がありますが、靖国通りは駿河台下交差点を直進します。神保町交差点の手前にある経路案内標識（写真下左）表示では靖国通り

（都道 302 号線）は直進ですが、直進は道なりに行く意味です。



写真下右の正面に見える道を直進しないよう注意です。寅次郎、この道を直進してしまい戻った経験があります。靖国通りは神保町古書街方面に向かいます。



### [神保町交差点] 千代田区神田神保町二丁目

最寄駅 都営新宿線 神保町駅

神保町交差点（写真下左）で白山通り（都道 301 号線）と交差します。左へ行くと平川門方面、右へ行くと水道橋方面です。



### [専大前交差点] 千代田区神田神保町二丁目

最寄駅 都営新宿線 神保町駅

写真下左は専大前交差点です。右へ行く道は専大通りの名称で、行くとすぐ左は専修大学神田キャンパスです。

寅さん歩 201 東京の学食めぐりー9 で学食をお楽しみください。

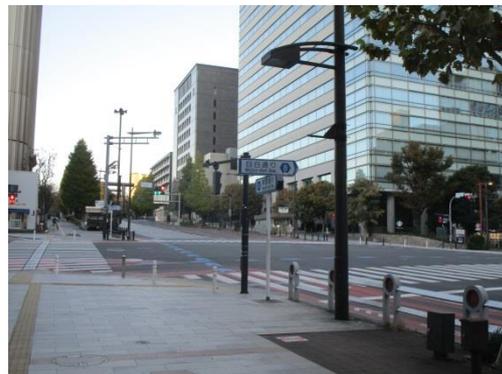


専大前交差点から靖国通りを進むと前方に高速道路池袋線（写真上右）が見えてきます。高速道路下の俎橋を過ぎると九段下交差点です。

## [九段下交差点] 千代田区九段北一丁目

最寄駅 都営新宿線 九段下駅

九段下交差点（写真下右）で内堀通り（都道 401 号線）と交差します。左へ行けば祝田橋方面、右へ行けば飯田橋方面です。右は目白通り（都道 8 号線）となり、ここが起点で練馬区三原台二丁目が終点です。



九段下交差点の左には東日本大震災で天井を被災、廃業した九段会館があります。写真左下の左側の建物で現在は別会社が従来の建物の外観を残した複合ビルに建て替え中です。右側のビルは昭和館、九段会館との間に日本武道館の屋根が見えます。

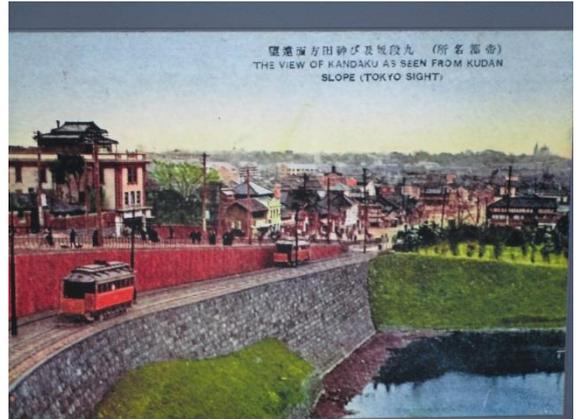
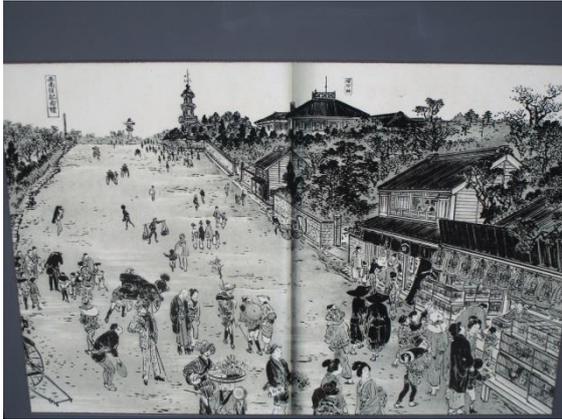
昭和館は寅さん歩 314 東京の博物館めぐりー7 千代田区ー1 をご覧ください。  
靖国通り（都道 302 号線）は直進して九段坂（写真下右）を上ります。



坂の途中にある説明板によると「九段坂は古くは飯田坂と呼ばれていました。名前の由来は坂に沿って御用屋敷の長屋が九つの段に沿って建っていたとも、急坂であったため九つの段が築かれたともいわれます。1871年（明治4年）九段坂の上に靖国神社（当時は招魂社）の高燈籠（常燈明台）が建設されました。高燈籠に隣接して陸軍の将校クラブである偕行社（かいこうしゃ）が建てられました。関東大震災後の帝都復興計画で坂を削り緩やかな勾配にする工事が行われ、九段坂は大正通り（現在の靖国通り）として主要な道路の一部になりました。この工事の際、高燈籠は通りを挟んだ反対側（現在地）に移設されました」と記載。大正通りの名前が存在した確認が出来ました。説明板には昔の九段坂の写真（絵）がありました。写真下左は明治時代の九段坂上にあった陸軍の将校クラブ偕行社と高燈籠、写真下右は明治時代初期の九段坂の錦絵です。



写真下は靖国通りの反対側にあった説明板には明治時代の九段坂を描いた版画（写真下）、九段坂及び神田方面遼望（写真下右）と書かれています。



右側には靖国神社の大鳥居（写真右）が見えますが、反対側に移された高燈籠（写真下左）を先に見に行きました。田安門の先に九段坂公園が2020年3月オープンして、高燈籠（写真下左）、品川弥太郎像、大山巖像が並んでいます。



写真上右は品川弥太郎(1843～1900)像で長州藩出身、吉田松陰の松下村塾で学び、尊王攘夷運動、戊辰戦争で活躍しました。明治政府ではイギリス、ドイツに留学、帰国後は内務大臣など政治家として要職を歴任しました。学校や信用組合、産業組合などの設立に関わりました。

写真下左は元帥陸軍大将 大山巖(1842～1916)像で薩摩藩出身、従兄弟の西郷従道（西郷隆盛の弟）とは盟友関係にありました。



薩英戦争で英国の近代的な軍備に影響を受け、江川太郎左衛門のもとで砲術を習得しました。日清戦争では第2軍司令官、日露戦争では満州軍総司令官を務めました。東郷平八郎と対を成して「陸の大山、海の東郷」と称されました。その後、参謀総長、内務大臣を務め、元老となりました。

銀杏が見頃（2021年11月28日撮影）になった靖国神社境内です。

写真下左の中央は大村益次郎像、写真下右は靖国神社境内から大鳥居を振り返りました。



靖国神社にはソメイヨシノの標準木（写真下左）があり、毎年、東京のソメイヨシノの開花時期が発表されています。靖国神社は祭礼や参拝者で話題になる戦没者を祀る神社です。写真下右は東京のお盆に合わせて開催の「みたま祭」です。寅さん歩 75 江戸・東京の祭—6（江戸らしい祭）みたま祭、寅さん歩 58 健康ご利益めぐり—20 千代田区、寅さん歩 313 東京の桜 2020 をご覧ください。



靖国通りという通称は新宿方面から神田方面に抜ける道の中心部にある靖国神社が由来です。1964年（昭和39年）東京オリンピック開催前に行われた東京の道路通称の見直しで「大正通り」から「靖国通り」に変わったとのこと。

今回はここまでとします。次回は千代田区九段靖国神社から終点の新宿区歌舞伎町の新宿大ガードまで歩きます。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。現在、寅次郎は「バーチャル 東北復興支援絆ウォーク」で福島県相馬市から青森県八戸市までの410kmに挑戦しています。

2022年1月16日、福島県相馬市スポーツアリーナを出発、三陸沿岸道路（復興道路）を歩いている寅次郎、2022年3月11日東日本大震災11年の黙とうを気仙沼港で行い、3月18日岩手県陸前高田IC（福島県相馬市から187km）に到着しました。

「東北支援絆ウォーク」は東日本大震災10年を迎えるにあたり震災の記憶を風化させない、復興10年を期に東北の発展を支援するために日本ウォーキング協会などが主催団体となり、2021年3月から行われています。

寅次郎、藤沢から東京へ移住（2012年8月）して「寅さん歩」を書き始めて10年を迎えます。

新型コロナウイルスの新しい変異株（オミクロン株）が見つかり、世界中で感染拡大が始まり、日本でも感染が拡大しています。東京都や神奈川県などは2022年1月21日からまん延防止等重点措置が適用され、例会も中止となりました。毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝

